



## あやめが丘の窓から

### 秋も学力も、デジタルだ！

校長 下 釜 祐 保



暑さ寒さも彼岸まで。先週末の秋分の日あたりを境に、めっきり秋が本格化した。異常気象だ、温暖化だと毎年言われるが、時を違えず、今年も菖蒲園には真っ赤な花が誇らしげに咲いている。曼殊沙華、いわゆる彼岸花である。思わず目を奪われ、改めて先人の教えの鋭さを痛感する。

春と比べられる秋だが、「春は少しずつ近づき、秋は突然現れる」と感じているのは私だけだろうか。浮かぶ童謡にも、

#### 「春よ来い」

♪ はーるよこい はーやくこい

#### 「ちいさい秋みつけた」

♪ ちいさいあき ちいさいあき ちいさいあき みつけた

とあるように、この感覚は正しいかもしれない。

春は徐々に、秋は突然に…。

高校生の学力も、この秋の訪れ方によく似ていると、思えてならない。努力する高校生の学力は、右肩上がりの直線状、いわゆる1次関数のグラフかという、そうではないようだ。ちょうど階段グラフのように突然、グッと上昇するようである。

もう一つ、これによく似たものがタクシーのメーターである。しばらく走っても何の変化もないが、もうしばらく走ると突然その料金がカチャッと変わる。デジタル時計が次の時刻を突然表示するのと同じである。高校生の学力も、しばらく努力を続けなければ、カチャッとメーターの音は聞けない。タクシーが更に走り続けられ、何度もその音は聞くことができるように、学力も一度上がり始めると、努力の継続で何度もアップできる。

センター試験まで、あと100日余りになった受験生の諸君は、走っても走ってもカチャッと音がなかなか鳴らないというもどかしい思いをしているかもしれない。「あと数メートル、あと数日でカチャッと音がする」と、自分を信じて走り続けることこそが大切である。

秋も、学力アップも、タクシーのメーターも、突然カチャッとやってくる。

### 学年だより

#### ～第1学年より～ やきいもは、好きです。

教室の窓から外を眺め、「秋はもの悲しい、、、」と涙をはらはらと流す女子生徒がいたという。ある時、担任が、食欲の秋だ、やきいもだ、やっぱり肉やろ、とあまりに食い意地の張った話題で盛り上がっている我々女子に対して、話してくださった。

その時は、「そんな生徒おらんやろー」と一笑に付した。

しかし、三十年以上が経った今でも、私は、その「秋はもの悲しい」生徒さんの話を覚えている。

察するに、私はこう考えている（感じている？）のではないかな。

自分の器量では、現実には順応しながら生きていくしかない。でも、理想としては、季節とともにうつろい、自然に涙するそんな情感豊かな人になりたい。

記憶に残るって、どんな意味があるのだろうか。 (1学年1組副担任 宮川 律子)

#### ～第2学年より～

2年生にとっての2学期は、学校行事はもちろんのこと、部活動でも新人戦等で下級生を牽引する機会が多くあります。その中で最近、「準備」というものの大切さを感じます。

「準備」は「本番」を意識して行うべきものであり、漫然と練習をするとか、単に目の前に物を揃えとかいうことではありません。例えば、屋外競技の選手が遠征試合に出掛ける際に悪天候を想定した「準備」を行うなら、雨具の用意だけでなく、屋内施設が利用可能かを確認、準備運動時間の設定変更や運動後に体温を下げない工夫など、あらゆることを事前に想定するはず。また、「本番」での成功のためには、不測の事態が生じた際に、「準備」した複数の選択肢からの確かな判断をする力も必要です。「本番」で成功するかどうかは、「準備」の仕方次第で9割方決まるのではないのでしょうか。

現在、定期考査を実施中ですが、これも「準備」力を発揮する絶好の機会です。そして、菖蒲祭まであと1ヶ月！「本番」で楽しむためにも、丹念に「準備」を進めていきましょう。

(2学年3組担任 小原 義康)

#### ～第3学年より～

いよいよ受験シーズン到来！入試に向けて書類、面接、小論文などの準備をする姿を見かけるようになりました。

「夏は受験の天王山」とよく言います。夏には学習合宿や補習で自分の目指す希望進路に向かってひたむきに努力する姿を見てきました。そして、稔りの秋がやってきます。夏の努力の成果を、受験や模擬試験で存分に発揮してもらいたいと思います。すぐに結果が出ない人もいますでしょう。でも、努力してきたのだから、結果は出ることをまずは自分が信じなくてははいけません。最後には、結果を出してみせるという意気込みで努力を続けて欲しいと願っています。

「受験は団体戦」です。クラス全員が団結して進路目標の達成を目指しましょう。勉強の辛さや合否の不安から、進路目標をあきらめそうになっても、クラスの仲間のがんばる姿を見てみましょう。「もう少しがんばってみよう」と思えるはずです。 (3学年1組副担任 田中 秀和)

# ●第67回体育祭●

## 《結果一覧》

- ☆総合優勝☆青組
- ☆応援優勝☆黄組
- ☆行進優勝☆青組
- ☆競技優勝☆青組

9月3日(日)に第67回体育祭が行われました。3年ぶりに日曜日に実施され、最高潮の状態で開催を迎えることができました。晴れ渡った青空の下、気迫あふれるパフォーマンスが繰り広げられグラウンドも大いに盛り上がり、最後のサークルでは声高らかに響く校歌から達成感と満足感が伝わってきました。残暑の厳しい中、多くの保護者の方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

### 黄組団長 福田 仁

体育祭お疲れ様でした。また、暑い中たくさんのご声援をいただきありがとうございました。

今年は、団長を務めさせていただき、貴重な経験をする事ができました。体育祭当日は思い出深いものとなったものの、上手いかわないことも多々あり、たくさん迷惑をかけたと思います。ですが、集団行動もあつた中疲れも見せずに声を出してついてきてくれた1・2年生、人まかせにせず、みんながリーダーのように頑張ってくれた3年生のおかげで、どこの団にも負けない明るく、楽しい黄組をつくる事ができました。三冠、総合優勝はできませんでしたが、最初から最後まで黄組らしさを見せる事ができたことを嬉しく思います。黄組のみなさん、本当にありがとうございました。

来年、再来年は、1・2年生が柱となり、さらに良い体育祭を作りあげてください。



### 青組団長 河添 響

体育祭お疲れ様でした。今年は赤・青・黄と3つの団での開催となり、例年よりも盛り上がるか不安でした。しかし、一つ一つ団にまとまりがあり、迫力がありました。保護者の方々からの声援もあり、口加生みんなが輝いていました。ご声援ありがとうございました。青団の3年生は各リーダーを全力でサポートしてくれました。団長としてこれ以上ないほどの友達を持てたことに感謝しかありません。青団の1・2年生はこんな自分についてきてくれてありがとう。最後の体育祭を例年以上の盛り上がりで3冠という形で終わられて最高の思い出となりました。団長は自分の人生で大きな経験となりました。



### 赤組団長 林田 亮

体育祭お疲れ様でした。今年の体育祭は、赤組の団長をやらせていただき、難しいことばかりでしたが、とても良い経験になりました。

初めは、リーダーシップをとることができず、大変なことばかりでしたが、それよりも得るものは大きかったと思っています。

1・2年生は、集団行動で練習時間が限られていましたが、その時間で一生懸命、班別活動に取り組んでくれました。特に応援では、太鼓を使った型を取り入れ、全員がそろった時の迫力に、赤団の団結力を感じ、とても感動しました。

優勝することはできませんでしたが、悔いはありません。今まで支えてくれた3年生、協力して最後までついてきてくれた1・2年生にはとても感謝しています。今までありがとうございました。



## 生徒会役員始動



9月から新生徒会が動き出しました。会長の松山君をはじめ、14名が中心となり口加高校を盛り上げていきます。

### 生徒会長 松山龍太郎君からのメッセージ

生徒会長の松山龍太郎です。生徒会長になったばかりで、まだ不慣れなことが多く、皆さんの足を引っ張ってしまうことがあるかもしれませんが、生徒会長として何ができるのか考えながら、積極的に行動していきたいと思っています。生徒会は小さな組織です。生徒の皆さんの協力があってこそこの生徒会であると思います。口加生全員が一丸となって、口加高校を更によりよい学校にしていきたいと思います。これから1年間頑張っていきますのでよろしくお願いします。

会長	松山龍太郎 (2-4)
副会長	本多 航士 (2-3)
	福田 陽菜 (2-1)
書記	中村珠沙希 (2-1)
	森 加奈実 (2-1)
	森田 晶子 (2-1)
	林田幸之助 (2-4)
	松尾 優衣 (1-2)
会計	竹田 航輝 (1-3)
	笹田 珠羽 (2-1)
	増永万里奈 (2-1)
	井手上優斗 (2-2)
	井上 祐香 (1-3)
	林田 摩耶 (1-3)

## 職員ペリリー

## 大窄 絃章

ディズニーランドは、世界で最初の「きれいな遊園地」だと言われています。そのきれいなディズニーランドを実現させているのは、掃除をするキャストです。散らかっている場所を掃除するのは、決して楽しいものではないと思います。しかし、そのキャストたちは、その仕事に大きなやりがいと誇りを持てるそうです。それは、落とされたゴミが「ゲストが落とした思い出のかけら」だから。1つ1つのゴミにいろんな思い出が込められていると考えると、ゴミを拾うことにも大きな価値を感じるそうです。物事には捉え方によって意識が全く変わることが多くあると思います。実際に私も、誰かに怒られたり、注意されたりするのがとても苦手でした。でも、「自分のことを考えてくれていない」とそんなことはしない」と気づき、それは自分にプラスだと感じるできるようになってきました。きついこと、嫌なことは誰にだって山のようにあります。でも、捉え方や意識を変えるだけで、それはきっとプラスにもなると思います。

## ★今月の生活創造コース★

### 22日(金) 乳幼児親子交流学習(2年生)

はいはいが上手になり、更につかまり立ちもできるようになっていて、成長が感じられました。また、私たちをじ〜っと見て“にっこり”としてくれる可愛さに癒されました。



## ★今月のグローバルコース★

9月12日には、南島原市との連携事業である、総合計画策定第4回を実施しました。10年後、自分たちの故郷が今より住みやすい街にするために、今の自分たちに何ができるのかを考え、10の提言を行いました。今後は言葉に磨きをかけ、完成に近づけていきます。また、9月20日には、山梨学院大学リベラルアーツ学部の教授より、これからの時代に生きる世代に求められる能力について、講演をいただきました。質疑応答では様々な質問が出て、自分たちの未来を考えるうえで、有意義な時間となりました。